

第11回全国市議会議長会研究フォーラム in 静岡レポート

研修期日 平成28年10月19日～平成28年10月20日

研修項目 (1日目) 平成28年10月19日 (水)

第1部 基調講演「二元代表制と議会の監視機能」

第2部 パネルディスカッション

「監視権の活用による議会改革」

第3部 意見交換会

(2日目) 平成28年10月20日 (木)

第4部 課題討議

「監視権を如何に行使すべきか」

研修場所 グランシップ大ホール・海

静岡市駿河区池田79-4

研修内容 別紙のとおり

報告者 小山幹雄

静岡全国議長会レポート

今回の視察において、多岐に渡る地方自治の百条委員会を始め、昨今の世間を賑わう分野に付いての、知識と情報を会得事が出来、その後の私自身の議会活動、政治活動にとって大変有意義なものであった。

後術、藤沢市の百条委員会の問題について講師を務めて頂いた藤沢市の佐賀 和樹市議の具体的な事例で講義は、大変わかりやすく、今日の地方自治における地方議員と地域住民との間の認識意識のギャップ、大切さと言う現実を改めて実感しました。我々地方議員にとって、地方自治の主人公の地域住民の皆さまとの意識の乖離は、つつい私達地方議員にとって陥りやすいものである。

原則4年間と言う任期を与えて頂いた選挙終了後の日常活動に置いて、その活動の固定化という事によって生じかねない一部の地域住民の方

達のみとの接触になりやすくそれがその他大勢の地域住民の皆様との意識の乖離を生じかねないからである。地方自治の主人公、勿論言うまでもなく広く地域住民の皆様であるわけであって今回の研修を通じわずか約1年間で議員をさせていただいて残り3年間の任期中強く留意しなければと、襟を正した訳である。

今後とも、今回の研修の様な現場の地方自治のタイムリーな問題、原理原則と言った問題、そして前述の様な藤沢市の百条委員会の問題等、広く私自身造形を深める認識を強くさせて頂いた有意義な研修であったものと言える。